

## 博士論文審査の結果の要旨

氏名	寒川 雅彦
学位名	博士（学術）
学位番号	甲 第 93 号
論文題目	日本のアパレル企業の中国進出に関する阻害要因の探索
論文審査委員	主査 森川 英明 乾 滋 高橋 正人 高寺 政行 庄司 裕子（中央大学理工学部）

(博士論文審査の結果の要旨)

中華人民共和国が社会主義市場経済を導入し経済発展が本格化する 1990 年代以降、日本のアパレルメーカーは中国を巨大市場として捉え自社製品による市場参入を進めたが、事業としては成功した例は少ない。本学位論文は、この期間における日本のアパレル企業の中国市場への展開の状況を総括し、事業展開に重要な要素となる市場、商品力、賃料、人件費等の観点から定性的考察、および定量的解析を行い、その結果について論じまとめたものである。

第 1 章は序論として、中国の経済発展とアパレル市場、および日本のアパレル企業の動向について述べ、さらに本論文における論点および構成について説明している。第 2 章では、日本のアパレル企業の中国出店における当時の状況を概説し、その構造的問題を事業の構成要素、特に店舗賃料や商品力の観点から論じている。並行して数学的方法を用いた商品在庫量や固定費残高の傾向分析を行い、中国市場への展開が困難であった原因について考察している。特に競争力の問題については、ランチェスターの法則に基き、簡単な連立常微分方程式モデルを用いて店舗賃料・商品力の変化を記述・解析している。第 3 章では、中国の経済政策や社会情勢・市場の変化を追いながら、日本のアパレル企業の展開について事例を挙げて述べている。アパレル産業に関連する日本の繊維企業、商社、小売など川上・川中・川下 80 社の企業データ（日本企業ハンドブック、1998）について主要となる 15 指標を選択・抽出し、主成分分析により企業のポジショニングを行い、特徴的な企業群（クラスター）の分析を行っている。さらに中国進出の成功例であるイトーヨーカ堂とファーストリテイリングについて、ポジショニングされた企業群における位置付けを行い、企業の特徴と中国市場への参入要件との関係を考察している。第 4 章では、イトーヨーカ堂、ファーストリテイリング、小島衣料の各企業経営者と経営コンサルタントの当時の発言を、インタビュー記事・その他の文献から取り出し、それらを計量テキスト分析により解析を行っている。テキストマイニングにおいては共起ネットワーク分析や対応分析を用いた解析により、各経営者・コンサルタントの当時の中国市場の捉え方、および中国市場進出に必要と考えていた事業要件の共通性と相違点を抽出し、これらに基づいた多面的な考察を行っている。

一連の研究はアパレル事業の海外展開における経営学的問題を、時間軸、市場特性、企業特徴、経営者観点等から調査・分析し、さらに多変量解析や計量テキスト分析など定量的な解析を導入することにより考察している点に独自性がみられ、得られた結果は学術的な意義が高く、その内容は博士学位論文に値するものと判断する。

(公表主要論文名)

- 寒川雅彦, 森川英明, 大谷毅, 日本の事業者の中国アパレル市場進出に関する「決定前提」の考察 ～日本アパレル企業の中国市場進出を阻んだ要因～, 日本感性工学会論文誌, 20, 3, 2021. doi:10.5057/jjske.TJSKE-D-21-00048
- Masahiko SAMUKAWA, Hongwei LI, Hideaki MORIKAWA, Tsuyoshi OTANI, Transformation of the Chinese Fashion Clothing Market around the Year 2000 and Japanese Firms' "Administrative Kansei (Affectivity)" - Exploring Factors of Successful Entry by a Successful Firm -, International Journal of Affective Engineering, 20, 1, pp.41-48, 2021. doi:10.5057/ijae.IJAE-D-20-00025
- 寒川雅彦, 李宏偉, 高橋正人, 森川英明, 大谷毅, 相対的低所得市場における高い店舗賃料と「商品力」の関係 ～日本の中国アパレル市場進出を阻んだ要因～, 日本感性工学会論文誌, 19, 2, pp.181-188, 2020. doi:10.5057/jske.TJSKE-D-19-00057